

10月1日(日)から10月6日(金)までの6日間の日程で、2年理数科の生徒がマレーシア研修を行いました。6日間という限られた時間の中で、生徒はこの研修でしか味わえないたくさんの体験をしました。この貴重な体験を以下にまとめて報告します。

1日目 10月1日(日)

1日目は新潟空港を出発して成田空港経由でマレーシアまで一気に移動するという強行日程でした。初めての海外に元気一杯で出発した生徒たちでしたが、さすがにホテルに到着する深夜着頃には疲れた様子でした。

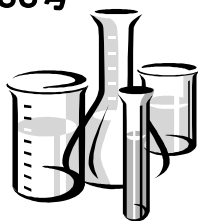
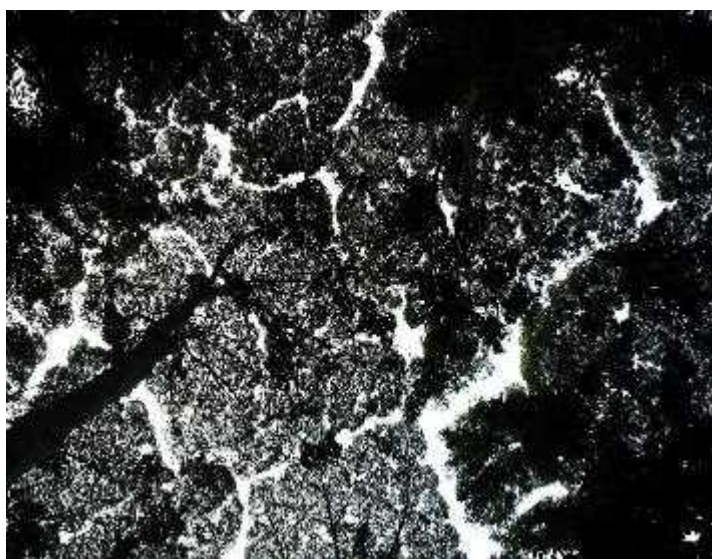
2日目 10月2日(月)

2日目はマラヤ大学の研修でした。植物園を散策した後、水質調査と堆肥作りの取り組みについて研修を行いました。班ごとの水質調査の結果、大学敷地内の池の水が見た目以上に汚れていることが分かり、生徒たちは驚いていたようです。また、マレーシアのごみ処理問題の現状と堆肥作りを通して廃棄物ゼロを目指す研究者の熱い思いに触れ、積極的に質問する生徒の姿が目立ちました。



3日目 10月3日(水)

3日目はマレーシア森林研究所、伝統農業公園の2ヶ所で研修を行いました。マレーシア森林研究所では、事前研修で学習した熱帯植物を間近で観察しました。生徒たちは英語でのガイドの説明を理解しようと真剣に説明に聴き入っていました。残念ながらキャノピーウォーク(つり橋を渡りながらのジャングル散策)を体験することはできませんでしたが、実際に熱帯雨林の中を歩いて地域特有の動植物を観察するという貴重な体験をすることができました。道中で遭遇した陸ガメや不思議な模様クラウンシャイネスは生徒の印象に残ったようです。



伝統農業公園では、事前研修で学んだゴムについて、ガイドの説明のもとで樹液採取体験をさせていただきました。樹液がいくつもの工程を経て普段使っているゴムへと変わっていく様子を間近で見ることができ、感慨深いものがあったようです。近年、マレーシアではゴムの木の管理が厳しくなっているため、今回の樹液採取体験はかなり貴重なものだったようです。



4日目 10月4日(木)

4日目は、マレーシア国民大学付属校を訪問しました。同行卒業の大学生も交え、生徒同士でポスターセッションを行いました。ここでも頑張って英語で質疑応答を行いましたが、内容が難しすぎるものもあって苦戦しました。それでもお互いを理解しようとする気持ちでコミュニケーションはとることができたようで、文化交流ではお互いの文化を紹介しながら楽しく時間を過ごせたようです。



5日目 10月5日(木)

5日目は午前中に三井住友海上、JICAの職員の方々からご講演いただきました。マレーシアをはじめとするアジアでの社会貢献、海外で働く意義や苦労などについて、海外で働く日本人の方々から貴重なお話を伺いました。将来世界で活躍したいと思う生徒にとっては、またとない機会になったようです。午後はペトロサインスに移動して1年生の英語の授業で地球と宇宙について研修を行いました。

6日目 10月6日(金)

午前4時にホテルを出発して帰国の途に就きました。夕方、新潟空港で多くの多々方に出迎えられて無事解散式を終えました。この研修を通して学んだことを今後に活かしてもらいたいと思います。

